

彙報 二〇一九年一月～六月

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十九日(水) 午後一時～

於 講堂

普賢行とは何か―親鸞と『華嚴經』―

本学教授 織田顕祐

西行と芭蕉に開かれる親鸞―日本人の

宗教心― 宗教学者 山折哲雄

真宗総合研究所

◇委員会

一月十七日(木) 午後〇時二十分～

於 尋源館会議室

・東京分室PD研究員の採用について

・『真宗総合研究所研究紀要』投稿ガイドライン一部修正について

・その他

二月一日(金) 午後〇時～

於 尋源館会議室

・二〇一八年度「一般研究」について
三月二十日(水) 午後一時～

於 博綜館第四会議室

・二〇一九年度「特定研究・指定研究」等の研究組織・研究計画について

・研究組織の変更について

五月十日(金) 午後〇時二十分～

於 響流館会議室

・特別研究員の人事について

・二〇一九年度研究組織について

・私立大学研究ブランディング事業について

・その他

◇私立大学研究ブランディング事業

ワーキングチーム会議

一月三十一日(木) 午後〇時～

於 響流館会議室

・外部評価について

・EBS百周年シンポジウムについて

・その他

四月二十四日(水) 午後〇時二十分～

於 博綜館第五会議室

・二〇二〇年度以降の私立大学研究ブランディング事業について

・シンポジウムの実施について

・二〇一八年度進捗状況について

・二〇一九年度の私立大学研究ブランディング事業について

・その他

◇二〇一八年度「特定・指定研究」

「資料室」研究成果報告会

三月八日(金) 午後三時三十分～

於 慶聞館K四〇六教室

◇二〇一八年度研究員総会

三月八日(金) 午後五時四十分～

於 慶聞館K四〇六教室

慶聞館マルチスベース4F南

真宗学会

◇『親鸞教学』第一一〇号発行

(三月十日)

◇『親鸞教学』第一一一号発行

(三月十五日)

◇新入会員歓迎講演会並びに総会

五月十四日(火) 午後一時～

於 慶聞館K二〇七教室

親鸞に学ぶ

本学教授 一楽 真

◇第一回例会

六月二十六日(水) 午後四時二十分

於 慶聞館K二〇七教室

卒業論文梗概発表会

本学大学院修士課程第一学年 四名

〓 仏 教 学 会

◇修士・卒業論文梗概発表会並びに

送別懇親会

一月十五日(火) 午後四時二十分

於 慶聞館K四〇七教室

修士・卒業論文発表後に記念撮影を行い、

その後慶聞館マルチスペース4F南で

懇親会を行った。

◇新入会員歓迎講演会

四月十八日(木) 午後一時

於 慶聞館K四〇一教室

仏教の聖地とそれを巡る仏典

本学教授 山本和彦

〓 哲 学 会

◇『哲學論集』第六十五号発行

(二月二十八日)

〔目次〕

論文

梶鳥敏の思想―その生成と構造―(一)

村山保史

民間医療復興の地域的特徴について

―東北タイ・サコンナコン県の事例

から― 古谷伸子

過疎地域におけるモビリティ確保の方

策―自家用車を活用した地域公共交

通の展開― 野村 実

学会活動報告

◇春季研究会

三月四日(月) 午後三時三十分

於 響流館マルチメディア演習室

「人間の尊厳」という概念について

―最近の研究動向と今後の展望―

本学哲学科准教授 脇坂真弥

「仏式葬儀」において「死者を語る」と

いうこと

―「記憶の共有化」に注目して―

本学社会学専攻修士課程 磯部美紀

◇二〇一九年度哲学学会総会・

『哲學論集』第六十五号合評会

六月六日(木) 午後四時三十分

於 慶聞館K三〇九教室

論文合評

民間医療復興の地域的特徴について

―東北タイ・サコンナコン県の事例

から― 古谷伸子

本学現代社会学科講師

梶鳥敏の思想―その生成と構造―(一)

本学哲学科教授 村山保史

合評会終了後、懇親会及び新入会員歓迎

会を行った。

〓 社 会 学 会

◇公開講演会

六月十九日(水) 午後一時

於 慶聞館K一〇一教室

ゲームにハマる―それにはワケがある

フリーランス・ゲームクリエイター

デジタルコンテンツ制作 CGQuest 代表

大阪羽衣国際大学現代社会学部講師

羽岡浩二

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会二月例会

一月二十六日(土) 午後二時

於 響流館演習室三

妙好人とは誰のことかー女性妙好人と

小児妙好人の分析ー 谷口愛沙

◇大谷大学日本史の会三月例会

三月二十三日(土) 午後二時

於 慶聞館K二一八教室

明治初期の吉野川分水計画と東本願寺

ー 関係史料の紹介ー 大艸 啓

◇大谷大学日本史の会五月例会

五月二十五日(土) 午後一時三十分

於 響流館演習室三

〈修士論文構想報告会〉

平安時代の法隆寺の動向ー「夢殿」と

道詮を巡ってー 小野崇之

日本の古代・中世前期における人身売

買 切通広貴

文藝学会

◇『文藝論叢』第九十二号発行

(三月A5判一〇六頁)

〈目次〉

七寺本「清浄法行經」の「翻刻」と「訓

讀」をめぐるー 翻刻と訓讀の試み

ー 野村卓美

『鈴鹿の物語』大東急記念文庫蔵本につ

いて 安藤秀幸

「この雨の夜にこの羅生門の上で」考

ー 古典のなかの「羅生門」ー 中川眞二

《公開講演会・筆録》

三好達治の〈影〉ー 驢馬と旅する詩人ー 國中 治

《公開講演会・筆録》

見えないものを表現すること 宇佐美文理

小山内薫「正直もの」についての覚え 大秦一浩

書 書

英文学会

◇『英文学会会報』第四十五号発行

(三月十日)

〈目次〉

「納屋は燃える」、「ウォッシュ」、敗戦

石本哲子

英語教育における英語史と文学につい

てー 英文法を軸にー 浅若裕彦

二〇一八年度卒業者と卒業論文題目

学会だより

国語教育学会

◇卒業論文発表会(ポスターセッション)

一月十八日(金) 午後二時四十分

於 四号館四一〇二教室

物語文の情景描写についてー 「ごんぎ

つね」を中心としてー 足立夕桂

読書単元の指導法ー 「千年の釘にいと

む」の実践を中心にー 員辨一人

物語教材の指導法ー 「もうすぐ雨に」

の実践的研究ー 浦田薫子

単元「漢文を読んでみよう」の指導法

羽根田翼

「仁和寺にある法師」の指導法

春名美緒

ビブリオバトルの指導法ー 「森へ」の

授業を手がかりにしてー 福井香絵

ファンタジー教材の指導法―「くじらぐも」の実践を手がかりにして―

守野あかり

◇『大谷大学国語教育研究』第六号発行

(二月二十五日)

〔目次〕

第一部 大谷大学国語教育学会第六回

研究大会報告

第六回研究大会概要

学級経営に活かす国語科教育―言語活動を重視した取り組みから―

望月謙二

第二部 研究論文

「深い学び」へと誘う国語科学習―単元

「なるほど！くいずをつくろう」の分析から―

増永雄一郎

説明的な文章の指導に関する一考察

―小学校第一学年「じどう車くらべ」

の授業実践を通して―

第三部 二〇一八年度卒業論文発表会・

卒業論文

二〇一八年度卒業論文発表会（ポス

トセクション）報告

二〇一八年度卒業論文七編（題目・氏名は前記の「卒業論文発表会」参照）

短期仏教科

◇『仏教研究紀要』第四十一号発行

(三月十五日)

〔目次〕

『仏教研究紀要』最終号の発刊に寄せて

大谷大学学長 木越 康

間思する人として生きよう

仏教科主任 三木彰円

卒業研究・修了レポート要旨

卒業研究・修了レポート全文

本願の名号―念仏とは何か―

鮫島想太

韋提希の救い―出遇い―

北村徳子

弥陀の誓願―「いのち」の真―

光澤顕也

研究課題名別卒業研究・修了レポート

一覽

卒業研究・修了レポート指導担当者一覽

短仏が教えてくれたこと 一楽 真

撰取不捨の利益にあづけしめたまうなり

研究室を憶う―二〇〇二―

山田恵文

短仏から問われている「これから」

藤元雅文

短仏での学び

西本祐攝

耳を傾ける姿勢

マイケル・コンウェイ

幼児教育保育科

◇卒業研究発表会

一月九日（水）午後四時二十分

於 慶聞館K二〇六教室

各ゼミより選出された代表者九名による卒業研究発表会を行った（発表時間は各十分）。二学年合同で行い、質疑応答や講評の場に参加することで、次年度に取り組む学生たちにとって良い刺激となった。

◇大谷幼稚園児による大学探検隊

六月二十八日（金）午前十時三十分

於 二号館

講堂棟多目的ホール

体育館アリーナ

大谷幼稚園との交流行事の一環で、大谷幼稚園の施設を利用した遊びを通して大谷幼稚園の子どもたちと幼児教育保育科の学生との交流をはかり親睦を深める目的で実施。午前は、園児と学生がペアになり学内探検（音楽室での楽器体験や二号館内での宝探し、その他）を楽しみ、多目的ホールで一緒におむすびを食べ交流を深めた後、午後からは、体育館アリーナで運動遊び（五種目）を行った。安全に留意しながら子どもたちが楽しめる活動を企画し実施することを通して、学生たちにとって実践的な学びの場となった。